

## 宿泊施設等実態調査の実施(案)について

### 1 目的

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に参加する選手・監督等の配宿を行うため、県内に所在する旅館業法に基づく営業許可施設の実態や客室提供意向、提供可能客室数等の調査を行い、今後の宿舎充足対策の検討及び配宿計画作成の資料とする。

### 2 調査内容

選手・監督等の配宿先として利用可能な施設の以下の事項について調査する。

調査内容	調査項目
(1) 客室提供意向	現時点での意向・意見
(2) 提供可能客室数	①客室の区分（和室、洋室、和洋室） ②客室の形式（和室：何畳、洋室：シングル／ダブル等） ③客室形式ごとの提供可能客室数等
(3) ハード面等のサービス提供能力、設備状況	駐車場の有無、駐車能力（大型バス、マイクロバス、普通車）、食事の提供・提供体制、浴場設備、会議室の有無・収容人数、洗濯設備、近隣コインランドリーの有無とその距離、冷暖房、通信設備、季節営業状況、周辺施設の状況、バリアフリー設備の設置状況、用具保管場所の有無、宿泊料金 等

### 3 調査方法

業務委託または市町村を通じた調査

### 4 調査時期

令和5年4月～11月頃（調査票の配布時期は6月から8月頃を予定）

### 5 調査対象施設

県内の旅館業法に基づく営業許可を受けた施設のうち、明らかに配宿に適さないと認められる施設（※1）を除いた施設

（※1 現に営業していないと認められる施設や葬儀場、車での輸送が困難な施設等、選手・監督を配宿することが困難と思われる施設）

### 6 その他

実態調査により、宿泊施設の不足が懸念される場合は、転用施設調査及び民泊意向調査の実施を検討する。